

ECONOMY TOPICS

経済トピックス

2017.10.30

No.447



業況 BSI 小幅低下 (2017年7～9月期の県内企業業況調査結果)

調査内容 2017年7～9月期の県内企業の業況実績
2017年10～12月期の県内企業の業況見通し

調査時期 2017年9月上旬

調査対象企業 県内中堅企業 325社

回答企業 246社 (回収率:75.7%)

{ 製造業 58社 建設業 42社 卸売業 54社
小売業 35社 運輸業・サービス業 57社
青森地区 92社 津軽地区 71社 県南地区 83社

BSIとは

Business Survey Index の略であり、企業業況判断指標という意味である
指標の求め方は次の通り

BSI=「業況良好企業及びやや良好企業の割合」-「業況不振企業及びやや不振企業の割合」

注:業況判断は前年同期との比較による

1. 2017年7～9月期の業況

(1) 業況 —小売業、卸売業が悪化、再びマイナス—

2017年7～9月期の全産業「業況BSI」は前期比2.4ポイント低下の△1.6と再びマイナスとなった。

業況判断の内訳をみると、業況好転とした企業の割合が同1.0ポイント減少の30.1%、業況悪化とした企業の割合は同1.4ポイント増加の31.7%となった。

産業別の「業況BSI」をみると、製造業は前期比4.8ポイント上昇の15.5となった。生コン、電子部品・デバイスなどで好転した。

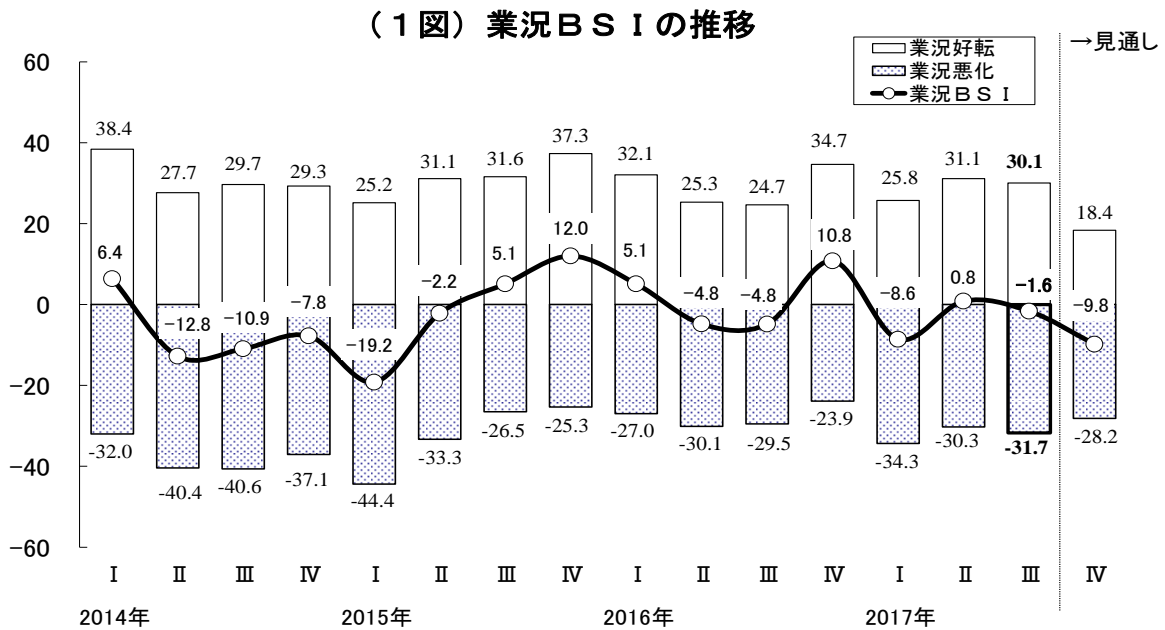
非製造業は、小売業、卸売業が悪化、運輸・サービス、建設業が好転した。小売業が前期比14.3ポイント低下の△17.1、卸売業が同12.8ポイント低下の△24.1となった。

一方、運輸・サービス業は同3.1ポイント上昇の15.8、建設業は同2.7ポイント上昇の△7.1となった。

小売業は、食料品、自動車、家具、燃料などで悪化が広がった。卸売業は、建築材料、機械器具、米穀、青果物、水産物などで悪化が広がった。一方、運輸・サービス業は、道路旅客運送、情報サービス、不動産賃貸、リースなどで好転が広がった。建設業は、総合工事、職別工事で幾分好転が広がった。

当期は、小売業、卸売業が悪化し、再びマイナスとなった。

(以上、1図、付表 参照)



(付表) 産業別業況BSIの推移

	製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス	合計
2016年 7 - 9 月期	0.0	5.0	-23.5	-11.8	6.0	-4.8
10 - 12 月期	18.8	17.9	12.5	-6.3	7.3	10.8
2017年 1 - 3 月期	0.0	-2.4	-28.6	-15.2	0.0	-8.6
4 - 6 月期	10.7	-9.8	-11.3	-2.8	12.7	0.8
7 - 9 月期	15.5	-7.1	-24.1	-17.1	15.8	-1.6
来期見通し	-5.2	-19.0	-7.4	-14.3	-7.1	-9.8

(2) 採算の状況 —「採算BSI」3期ぶりに上昇—

2017年7～9月期の全産業「採算BSI」は3期ぶりに上昇し、前期比8.6ポイント上昇の△1.7となった。

採算判断の内訳をみると、採算好転とした企業の割合は同4.0ポイント増加の12.1%、一方、採算悪化とした企業の割合は同4.6ポイント減少の△13.8%となった。

産業別の「採算BSI」をみると、製造業は前期比7.1ポイント上昇の1.7となった。金属製品で悪化がみられたものの、食料品、飲料で幾分好転がみられた。

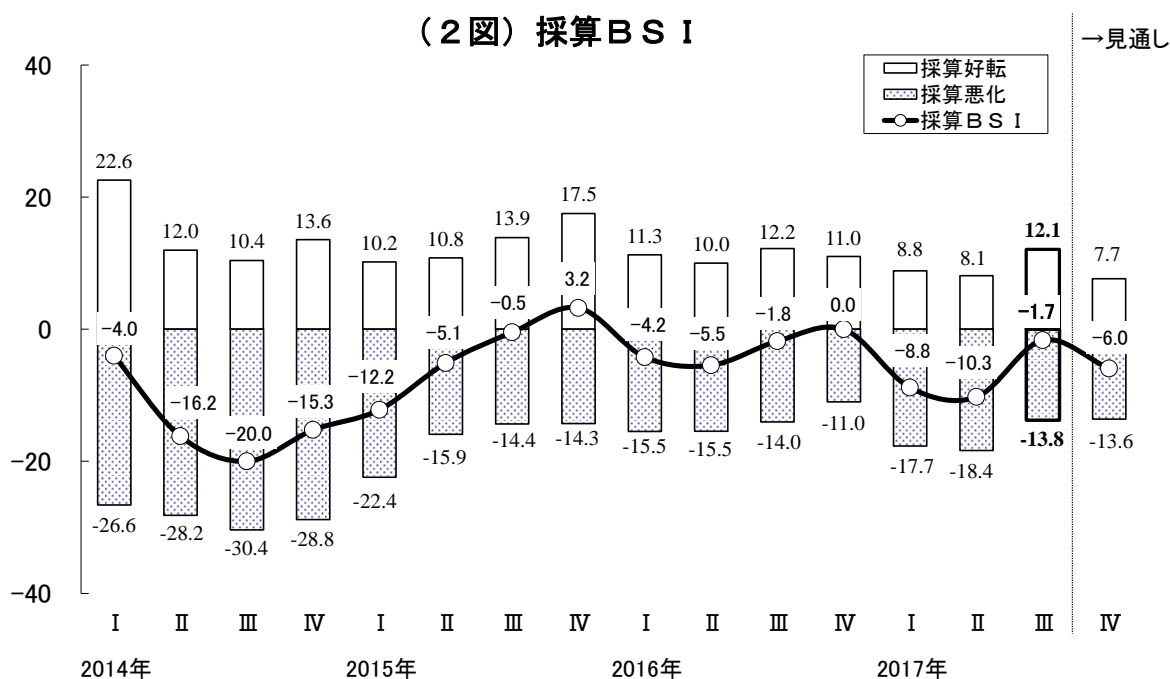
非製造業は、全ての産業で好転した。運輸・サービス業が前期比24.7ポイント上昇

の5.5、卸売業が同3.6ポイント上昇の△9.6、小売業が同2.9ポイント上昇の2.9、建設業が同0.3ポイント上昇の△10.0となった。

運輸・サービス業は、道路貨物運送、情報サービス、宿泊で好転がみられた。卸売業は、食品、福祉用具、包装資材などで好転がみられた。小売業は、書籍、電気機械で好転がみられた。建設業は、総合工事で好転が幾分広がった。

当期の「採算BSI」は、運輸・サービス業や製造業が前期を上回って全体を押し上げ、3期ぶりに上昇した。

(以上2図、付表参照)



(付表) 産業別採算BSIの推移

	製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス	合計
2016年 7 - 9 月期	-2.0	0.0	-7.8	-2.9	4.3	-1.8
10 - 12 月期	2.1	5.3	6.4	-9.7	-5.5	0.0
2017年 1 - 3 月期	-9.3	0.0	-14.6	-15.6	-5.7	-8.8
4 - 6 月期	-5.4	-10.3	-13.2	0.0	-19.2	-10.3
7 - 9 月期	1.7	-10.0	-9.6	2.9	5.5	-1.7
来期見通し	-10.5	-10.5	1.9	-5.7	-5.7	-6.0

(3) 生産高・操業度の状況 —「生産高 BSI」、「操業度 BSI」とも 2 期連続上昇—

2017 年 7～9 月期の製造業の「生産高 BSI」は前期比 5.2 ポイント上昇の 17.9 と、2 期連続で上昇した。

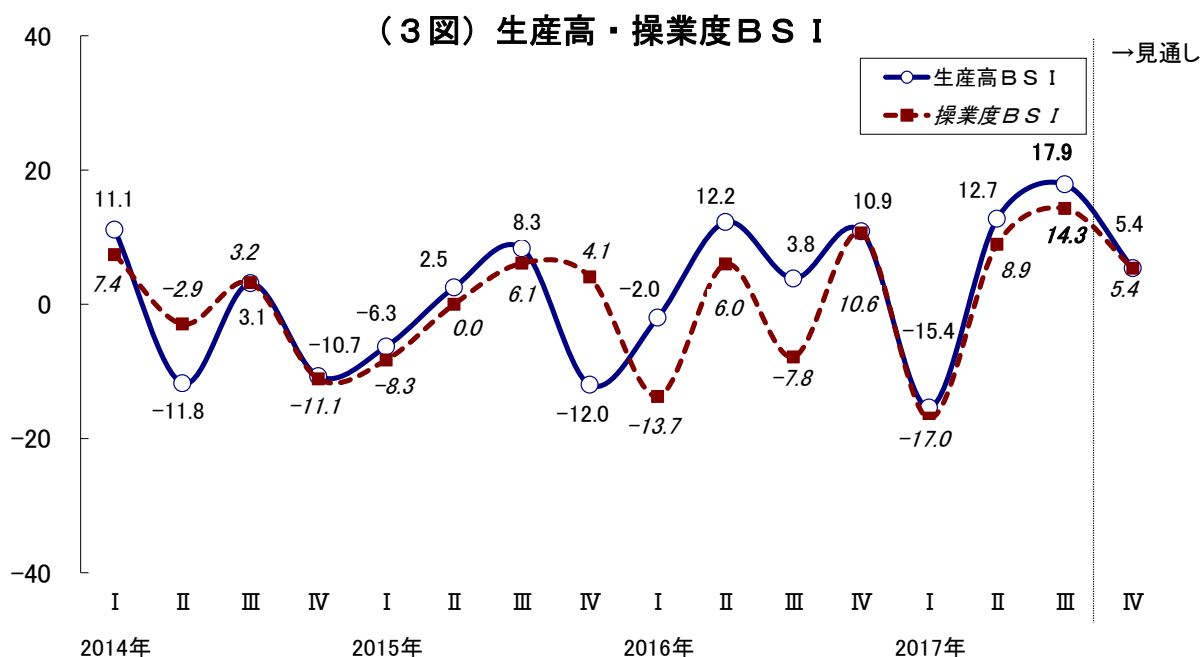
「操業度 BSI」は同 5.4 ポイント上昇の 14.3 と、2 期連続で上昇した。

木材・木製品、生コン、金属製品、電子部品・デバイスなどで増産となった。また、木

材・木製品、印刷、生コン、金属製品、電子部品・デバイスなどで稼働率が上昇した。

来期は「生産高 BSI」が当期比 12.5 ポイント低下の 5.4、「操業度 BSI」が同 8.9 ポイント低下の 5.4 となる見通しである。

(以上、3 図 参照)



(4) 受注高の状況 —「受注高 BSI」4 期ぶりに上昇—

2017 年 7～9 月期の建設業の「受注高 BSI」は前期比 9.4 ポイント上昇の△15.0 となり 4 期ぶりに上昇した。

内訳をみると、受注増加とした企業の割合が同 10.5 ポイント増加の 30.0%、一方、受注減少とした企業の割合は同 1.1 ポイント増加の 45.0%となった。

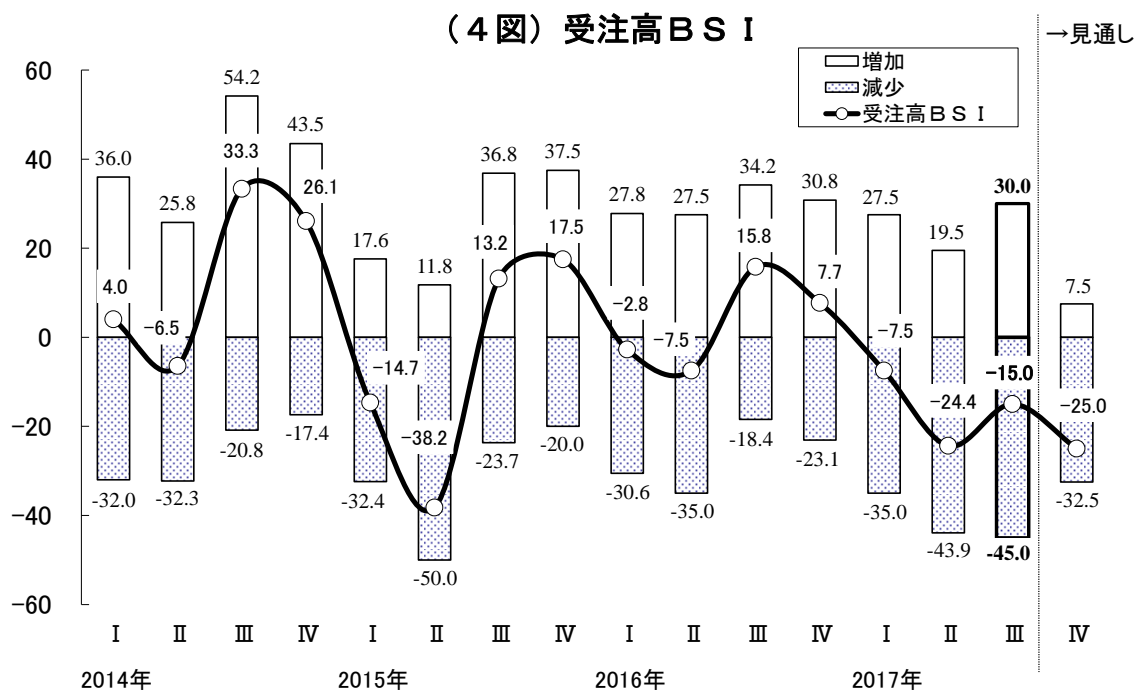
当期は、総合工事、職別工事、設備工事

のすべてで受注増加の割合が広がった。

来期の「受注高 BSI」は同 10.0 ポイント低下の△25.0 となる見通しである。

内訳をみると、受注増加とする割合が当期比 22.5 ポイント減少の 7.5%、受注減少とする割合が同 12.5 ポイント減少の 32.5%と見込まれている。

(以上、4 図 参照)



(5) 売上高・出荷高の状況—「売上高BSI」、「出荷高BSI」とも上昇—

2017年7～9月期の「売上高BSI」は、前期比4.2ポイント上昇の△1.4となり、2期連続で上昇した。

産業別の「売上高BSI」をみると、小売業が前期比10.7ポイント上昇の△14.3、運輸・サービス業が同2.9ポイント上昇の19.6、卸売業が同0.3ポイント上昇の△14.8となった。

運輸・サービス業は、道路旅客運送、ガス、情報サービス、不動産賃貸、リースで売上が増加した。卸売業は、飲食料品で売上の増加がみられた。一方、小売業は、衣料品、自動車などで増加した。

なお、来期の「売上高BSI」は卸売業では、建築材料、機械器具、青果物、水産物

で減少が見込まれる。小売業では、衣料品、自動車などで減少が見込まれる。一方、運輸・サービス業では道路旅客運送、情報サービス、不動産賃貸、宿泊、リースなどで減少が見込まれる。全体では当期比8.3ポイント低下の△9.7となる見通しである。

2017年7～9月期の「出荷高BSI」は前期比11.7ポイント上昇の22.4と2期連続で上昇した。

飲料、木材・木製品、生コン、電子部品・デバイスなどで出荷増加がみられた。

来期の「出荷高BSI」は、食料品、飲料、印刷、生コン、一般機械、電子部品・デバイスなどで出荷減少が見込まれ、当期比27.6ポイント低下の△5.2となる見通しである。

(以上、5図、付表 参照)



(付表) 売上高・出荷高BSIの推移

	出荷高BSI	売上高BSI			
	製造業	卸売業	小売業	運輸・サービス	
2016年 7 - 9 月期	0.0	-21.6	-5.9	-16.0	-15.6
10 - 12 月期	8.3	14.6	-18.8	-7.3	-2.2
2017年 1 - 3 月期	-18.5	-22.9	-18.2	-3.6	-14.0
4 - 6 月期	10.7	-15.1	-25.0	16.7	-5.6
7 - 9 月期	22.4	-14.8	-14.3	19.6	-1.4
来期見通し	-5.2	-15.1	-17.1	0.0	-9.7

(6) 価格の状況—「販売単価 BSI」と「仕入単価 BSI」の乖離幅、4 期連続拡大—

2017 年 7～9 月期の「仕入単価 BSI」は前期比 6.5 ポイント上昇の 29.7 となり、2 期連続で上昇した。

産業別にみると、製造業が同 31.3 ポイント上昇の 40.4、非製造業は同 4.7 ポイント低下の 24.8 となった。

製造業は、飲料や一般機械で低下がみられたものの、食料品、パルプ・紙、印刷、化学、プラスチック、生コン、鉄鋼、金属製品、精密機械などで上昇がみられた。

非製造業は、建設業が前期比 7.2 ポイント低下の 12.8、卸売業が同 7.1 ポイント低下の 32.1 となった。一方、小売業は同 1.5 ポイント上昇の 27.3 となった。

建設業は、総合工事、職別工事で仕入単価上昇の動きが弱まった。卸売業は、青果物、飲食料品、建築材料などで低下がみられた。一方、小売業は飲食料品で上昇がみられた。

2017 年 7～9 月期の「販売単価 BSI」は前期比 1.3 ポイント上昇の 1.7 と 2 期連続で上昇した。

産業別にみると、製造業が同 3.6 ポイント上昇の 1.8、非製造業は同 0.6 ポイント上昇の 1.7 となった。

製造業は、飲料、一般機械などで販売単価の上昇がみられた。

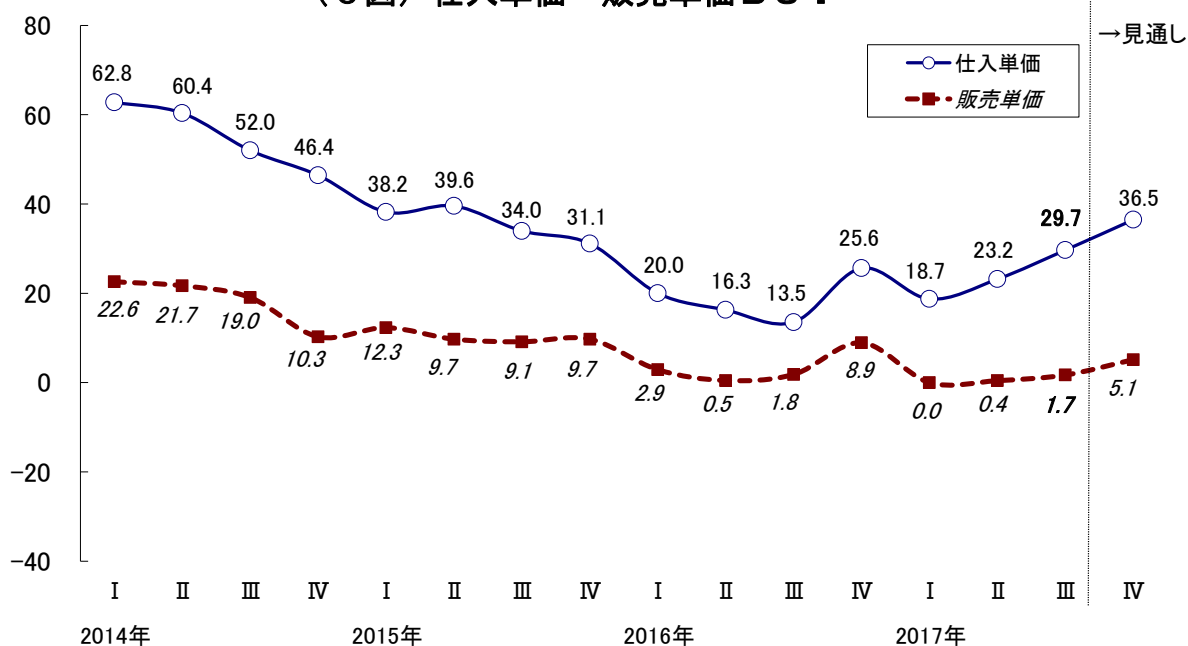
非製造業は、小売業が前期比 17.2 ポイント上昇の 20.0、運輸・サービス業が同 5.6 ポイント上昇の 1.8 となった。一方、卸売業は同 15.4 ポイント低下の 1.9 となった。なお建設業は同横ばいの 5.4 となった。

小売業は、宝飾品、自動車、家電で上昇がみられた。運輸・サービス業は、貸金、不動産賃貸などで上昇がみられた。一方、卸売業は、飲食料品、建築材料などで低下した。

当期は、「販売単価 BSI」と「仕入単価 BSI」の乖離幅が 4 期連続で拡大した。なお、来期については、「仕入単価 BSI」が当期比 6.8 ポイント上昇の 36.5、「販売単価 BSI」が同 3.4 ポイント上昇の 5.1 となり、両単価の乖離は、拡大する見通しである。

(以上、6 図、付表 参照)

(6 図) 仕入単価・販売単価 BSI



(付表) 仕入単価BSIの推移 (上昇-低下)

	製造業				非製造業	仕入単価 BSI
		建設業	卸売業	小売業		
2016年 7 - 9 月期	9.6	21.6	10.0	16.1	15.3	13.5
10 - 12 月期	16.7	34.3	35.4	14.3	29.7	25.6
2017年 1 - 3 月期	18.5	17.9	25.0	10.0	18.8	18.7
4 - 6 月期	9.1	20.0	39.2	25.8	29.5	23.2
7 - 9 月期	40.4	12.8	32.1	27.3	24.8	29.7
来期見通し	49.1	20.5	36.5	33.3	30.6	36.5

(付表) 販売単価BSIの推移 (上昇-低下)

	製造業				運輸・ サービス	非製造業	販売単価 BSI
		建設業	卸売業	小売業			
2016年 7 - 9 月期	5.9	0.0	-7.8	14.7	0.0	0.6	1.8
10 - 12 月期	4.2	0.0	27.7	0.0	7.7	10.3	8.9
2017年 1 - 3 月期	-3.7	-5.6	10.4	-3.0	0.0	1.2	0.0
4 - 6 月期	-1.8	-5.4	13.5	2.8	-7.4	1.1	0.4
7 - 9 月期	1.8	-5.4	-1.9	20.0	-1.8	1.7	1.7
来期見通し	1.8	-2.7	13.7	11.4	1.9	6.2	5.1

(7) 在庫投資・在庫水準の状況 — 製造業、非製造業ともに積み増し —

2017年7～9月期の「在庫投資BSI」は、製造業が前期比4.7ポイント上昇の19.0、非製造業は同4.8ポイント上昇の7.2となった。

製造業は、飲料で手控えの動きがみられたものの、木材・木製品、パルプ・紙、生コン、金属製品などで積み増しの動きがみられた。

非製造業をみると、卸売業では飲食料品など、小売業では、衣料品、飲食料品で積み増しの動きがみられた。

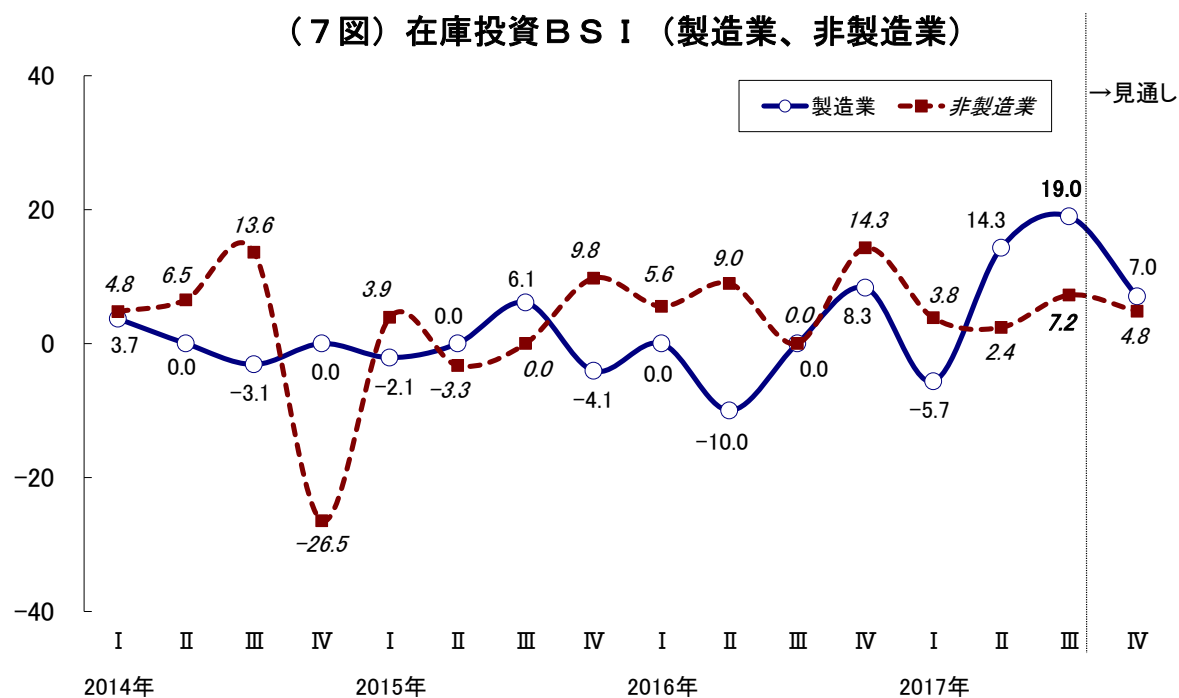
来期の「在庫投資BSI」は、製造業が当

期比12.0ポイント低下の7.0と手控えの動きがみられ、非製造業も同2.4ポイント低下の4.8とやや手控えの動きがみられる。

2017年7～9月期の「製品・商品在庫水準BSI」は、製造業が前期比10.5ポイント低下の△3.4、卸・小売業は同3.4ポイント上昇の5.9となった。

来期は、製品では、飲料、印刷、鉄鋼などで、商品では、飲食料品、電子部品などで不足感がみられるものの、ほぼ適正水準が見込まれる。

(以上、7図、付表 参照)



(付表) 在庫関連BSIの推移

	在庫投資BSI		製品・商品在庫水準BSI	
	製造業	非製造業	製造業	卸・小売業
2016年 7 - 9 月期	0.0	0.0	11.8	6.4
10 - 12 月期	8.3	14.3	4.2	11.8
2017年 1 - 3 月期	-5.7	3.8	5.6	5.1
4 - 6 月期	14.3	2.4	7.1	2.5
7 - 9 月期	19.0	7.2	-3.4	5.9
来期見通し	7.0	4.8	-3.5	5.9

(8) 設備投資の動向

—製造業、非製造業とも上昇—

2017年7～9月期の「設備投資BSI」は、製造業が前期比 20.5 ポイント上昇の 22.4、非製造業は同 6.6 ポイント上昇の 7.8 となった。

製造業は、食料品で機械装置や冷蔵倉庫、パルプ・紙で生産ラインの処理能力向上、精密機械でめっき装置増設などの動きがみられ、全体では前期比で大幅に上昇した。

非製造業をみると、建設業では、フライス盤などの投資がみられた。

卸売業では、建築材料で店舗改装、機械工場整備など、機械器具でリースレンタル用機械などの投資がみられた。

小売業ではスーパーで新店建設工事、自動車で店舗改修などの投資がみられた。

運輸・サービス業では道路貨物運送で不動産や車両購入、設備の維持更新、ガスでガス管入替等、宿泊で耐震補強、冷蔵庫

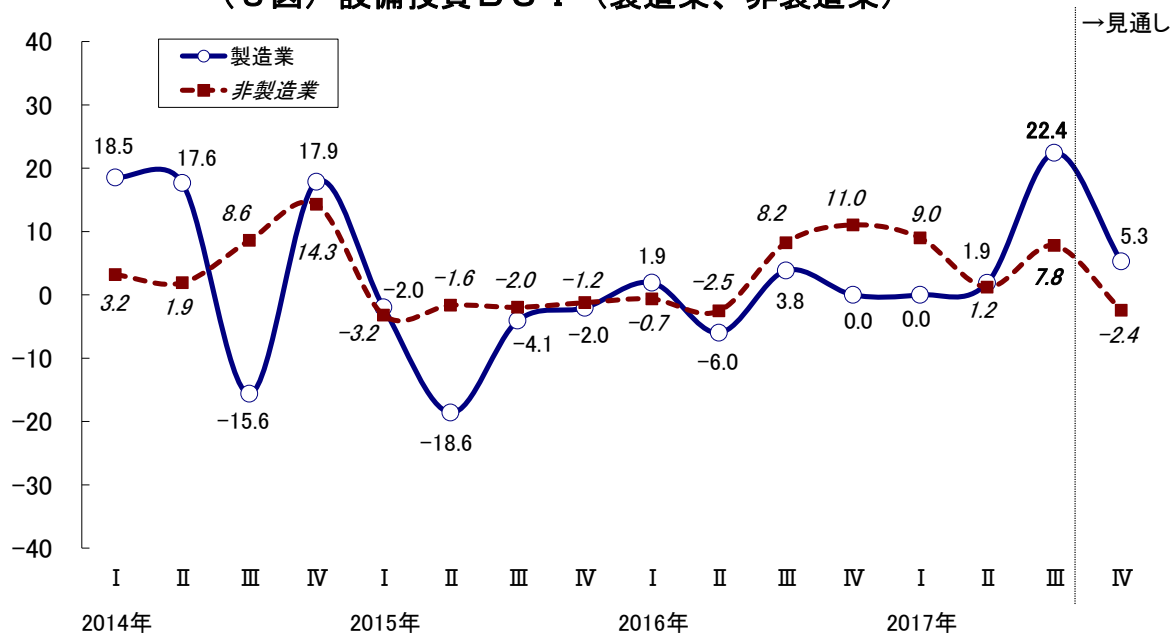
設置などの投資がみられた。

来期の「設備投資 BSI」は、製造業が当期比 17.1 ポイント低下の 5.3、非製造業が同 10.2 ポイント低下の同△2.4が見込まれている。

なお今後 6 ヶ月間では、食品製造でりんご加工工場設置、飲料製造で製造設備やボイラー設置、パルプ・紙で老朽化更新、鉄鋼で生産能力増強、精密機械で成形機更新やメッキ装置改造、建設でアパート新設、建築材料卸で店舗や倉庫改修、機械器具卸で本社改築、スーパーで店舗新設や店舗設備・什器等更新、自動車で販売拠点の新築、道路貨物運送で倉庫棟・事務所棟建設や車両購入、不動産賃貸で冷暖房設備更新、リースで店舗改装や倉庫増設などが予定されている。

(以上、8 図 参照)

(8 図) 設備投資 B S I (製造業、非製造業)

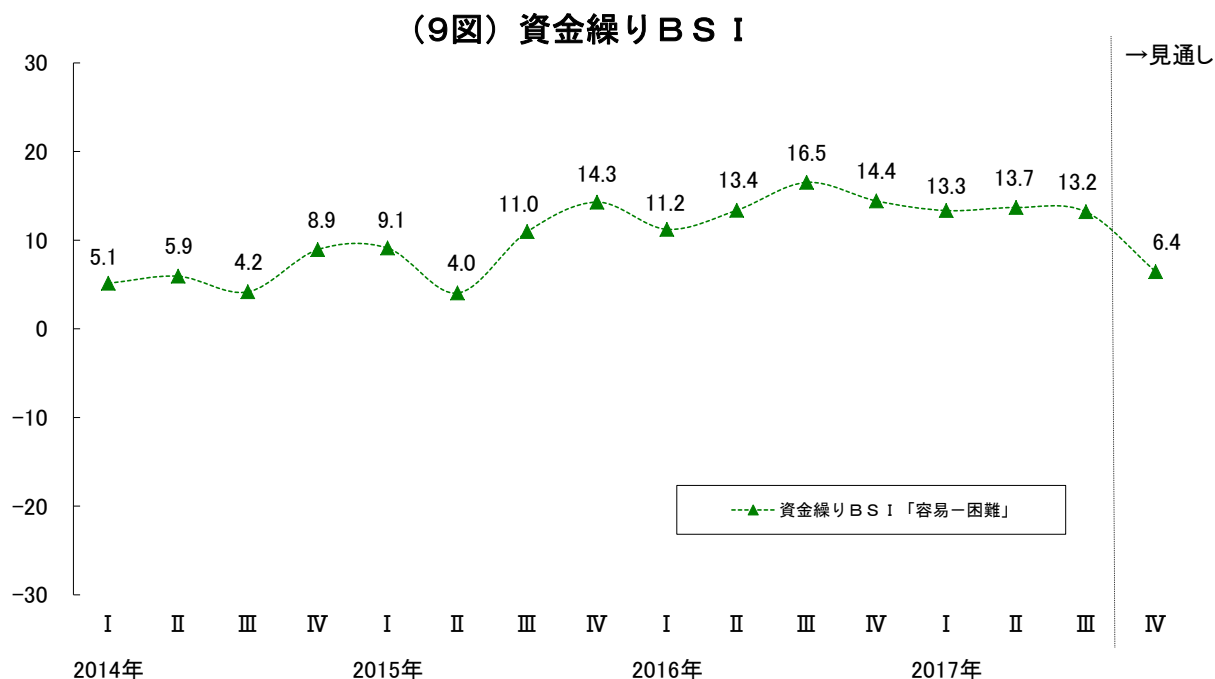


(9) 企業金融の動向 —資金繰りの容易さやや低下—

2017年7～9月期の「資金繰りBSI」は前期比0.5ポイント低下の13.2となり、手元資金の資金繰りの容易さがやや低下した。

来期は当期比6.8ポイント低下の6.4となる見通しである。資金繰りがタイトになる見通しだが、全体にほぼ適正範囲内の動きが見込まれている。

(以上、9図、付表 参照)



(付表) 資金繰りBSIの推移

	資金繰りBSI (容易-困難)
2016年 7 - 9 月期	16.5
10 - 12 月期	14.4
2017年 1 - 3 月期	13.3
4 - 6 月期	13.7
7 - 9 月期	13.2
来期見通し	6.4

(10) 地区別の状況 —「業況BSI」県南地区上昇、青森、津軽地区低下—

・青森地区

「業況BSI」が前期比4.6ポイント低下の0.0となった。そのほか「受注高BSI」が同41.9ポイント上昇の28.6と大幅に上昇したほか、「設備投資BSI」が同14.5ポイント上昇の10.7、「生産高BSI」が同12.4ポイント上昇の26.7、「売上高BSI」が同3.7ポイント上昇の△3.3などとなった。

・津軽地区

「業況BSI」が前期比12.9ポイント低下の△8.5となった。そのほか「設備投資BSI」が同18.5ポイント上昇の25.0となったほか、「受注高BSI」が同9.9ポイント

上昇の△28.6となった。一方、「生産高BSI」は同15.4ポイント低下の30.8となった。「売上高BSI」は同横ばいの0.0となった。

・県南地区

「業況BSI」が前期比8.2ポイント上昇の2.4となった。そのほか「生産高BSI」が同10.7ポイント上昇の7.1、「売上高BSI」が同9.1ポイント上昇の0.0などとなった。一方、「受注高BSI」は同26.9ポイント低下の△50.0と大幅に低下し、「設備投資BSI」は同1.2ポイント低下の1.3となった。

(以上、1表 参照)

(1表) 地域別BSIの推移

	業況BSI			生産高BSI			出荷高BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2016年 7 - 9 月期	-10.6	4.8	-6.3	0.0	25.0	-3.8	15.4	8.3	-12.0
10 - 12 月期	1.2	33.3	3.7	-27.3	87.5	3.7	8.3	22.2	3.7
2017年 1 - 3 月期	-8.0	-10.8	-7.4	-42.9	9.1	-11.1	-26.7	-25.0	-11.1
4 - 6 月期	4.6	4.4	-5.8	14.3	46.2	-3.6	26.7	23.1	-3.6
7 - 9 月期	0.0	-8.5	2.4	26.7	30.8	7.1	18.8	42.9	14.3
来期見通し	-4.3	-17.1	-9.6	20.0	-7.7	3.6	-12.5	-7.1	0.0
	売上高BSI			受注高BSI			在庫投資BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2016年 7 - 9 月期	-17.5	-10.8	-17.1	23.1	0.0	25.0	7.5	13.3	-16.3
10 - 12 月期	-10.9	21.6	-11.6	21.4	7.1	-9.1	6.3	17.9	14.3
2017年 1 - 3 月期	-13.8	-10.3	-17.9	14.3	-30.8	-7.7	-1.9	-3.3	4.3
4 - 6 月期	-7.0	0.0	-9.1	-13.3	-38.5	-23.1	9.3	12.1	1.9
7 - 9 月期	-3.3	0.0	0.0	28.6	-28.6	-50.0	17.9	2.8	12.2
来期見通し	-8.3	-11.9	-9.5	-14.3	-50.0	-8.3	17.9	-5.6	0.0
	設備投資BSI			採算BSI			資金繰りBSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2016年 7 - 9 月期	8.1	8.6	5.1	0.0	-3.3	-2.5	16.9	13.1	18.8
10 - 12 月期	11.1	3.8	9.0	-2.5	-3.3	5.1	13.9	3.4	23.1
2017年 1 - 3 月期	10.4	3.6	5.2	-3.6	-17.2	-7.6	18.1	3.2	16.5
4 - 6 月期	-3.8	6.5	2.5	-8.2	-18.5	-6.0	14.3	4.6	20.0
7 - 9 月期	10.7	25.0	1.3	2.3	-7.1	-1.2	14.9	6.1	17.1
来期見通し	-2.4	-3.2	3.9	-3.5	-11.8	-3.7	4.7	0.0	13.6

2. 経営上の問題点

—「人員不足」が、集計開始以来初の最多—

経営上の問題点は、集計を開始した1972年4～6月期以来、初めて「人員不足」が42.0%で最多となった。

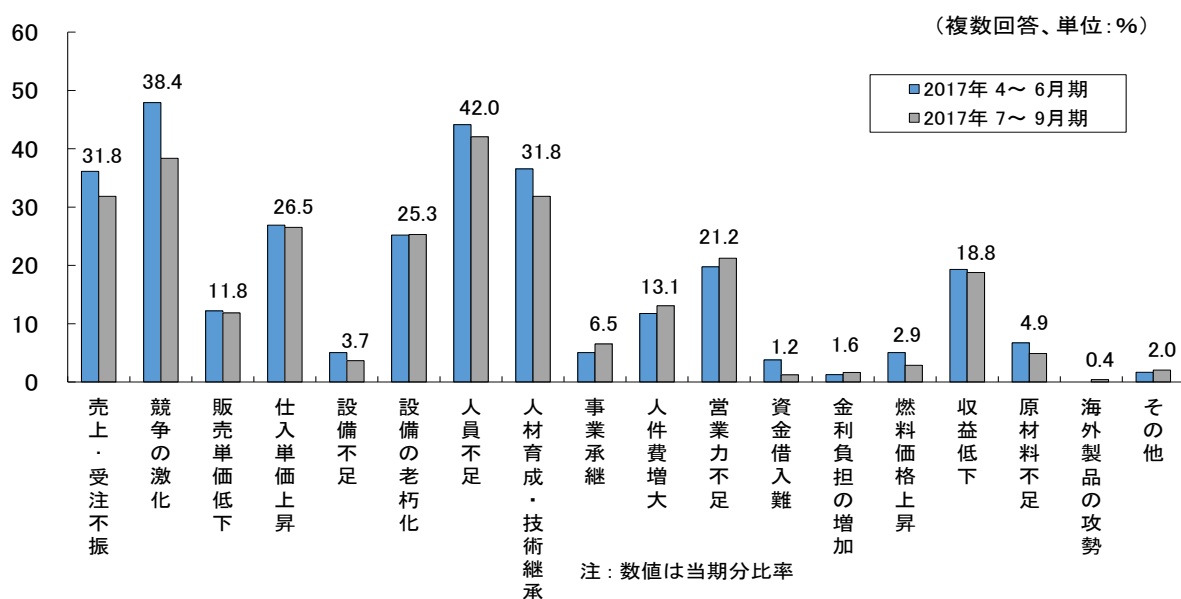
以下は、「競争の激化」が38.4%、「売上・受注不振」と「人材育成・技術継承」が各31.8%、「仕入単価上昇」が26.5%、「設備の老朽化」が25.3%などと続いた。

当期は、「設備の老朽化」、「営業力不足」、「人件費増大」などの割合が、前期に比べて増加した。一方、「競争激化」、「人材育成・技術継承」、「売上・受注不振」などの割合が減少した。

産業別に、トップにあげられた経営上の問題点をみると、製造業では「設備老朽化」、建設業と運輸・サービス業では「人員不足」、卸売業では「競争の激化」、小売業では「競争の激化」と「人員不足」があげられた。また、製造業では「人員不足」、建設業では「競争激化」、運輸・サービス業では「設備の老朽化」の割合も高かった。なお、前期に75.0%を示した運輸業の「人員不足」は5.9%となり、不足感は鎮静化したとみられる。

(以上、10図、付表 参照)

(10図) 経営上の問題点



(付表) 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)

	売上・受注不振	競争激化	販売単価低下	仕入単価上昇	人員不足	人材育成・技術継承	人件費増大	収益低下
2016年 7 - 9 月期	41.7	44.8	11.7	16.1	39.5	35.0	10.8	17.5
10 - 12 月期	37.9	47.7	13.6	23.4	41.1	39.7	11.2	16.8
2017年 1 - 3 月期	39.2	48.0	16.3	25.1	40.5	34.8	10.6	21.1
4 - 6 月期	36.1	47.9	12.2	26.9	44.1	36.6	11.8	19.3
7 - 9 月期	31.8	38.4	11.8	26.5	42.0	31.8	13.1	18.8

3. 来期の見通し

－「業況BSI」、「採算BSI」ともに低下－

来期(2017年10～12月期)の「業況BSI」は、全産業ベースで当期比8.2ポイント低下の△9.8となる見通しである。

産業別では、運輸・サービス業が同22.9ポイント低下の△7.1、製造業が同20.7ポイント低下の△5.2、建設業が同11.9ポイント低下の△19.0と見込まれる一方、卸売業は同16.7ポイント上昇の△7.4、小売業は同2.8ポイント上昇の△14.3と見込まれる。

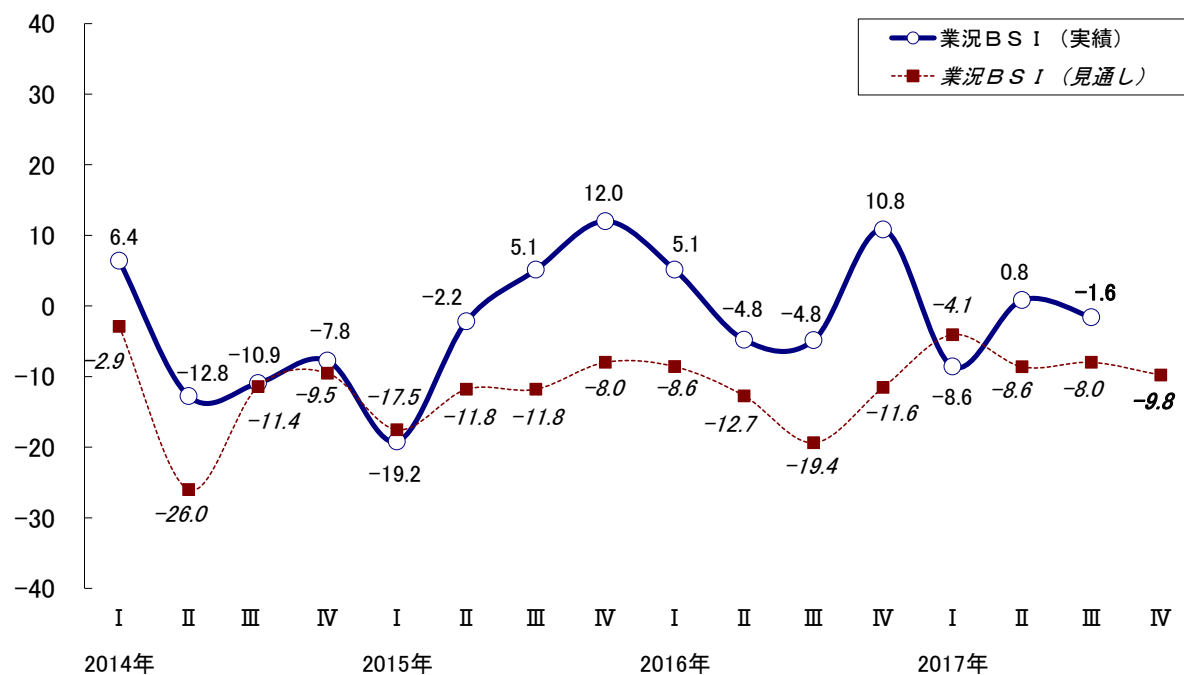
来期(2017年10～12月期)の「採算BSI」

は、全産業ベースで当期比4.3ポイント低下の△6.0となる見通しである。

産業別にみると、製造業が同12.2ポイント低下の△10.5、運輸・サービス業が同11.2ポイント低下の△5.7、小売業が同8.6ポイント低下の△5.7、建設業が同0.5ポイント低下の△10.5となる見通しである。一方、卸売業は同11.5ポイント上昇の1.9となる見通しである。

(以上、11図、付表 参照)

(11図) 業況BSIの見通しと実績の推移



(付表) 業況BSI、採算BSIの来期見通し

		製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス	合計
業況BSI	2017年7-9月期	15.5	-7.1	-24.1	-17.1	15.8	-1.6
	来期見通し	-5.2	-19.0	-7.4	-14.3	-7.1	-9.8
採算BSI	2017年7-9月期	1.7	-10.0	-9.6	2.9	5.5	-1.7
	来期見通し	-10.5	-10.5	1.9	-5.7	-5.7	-6.0